



QP1000

パケットキャプチャ装置



QPシリーズは5種のラインナップから構成されるパケットキャプチャ装置です。仮想キャプチャ機能、バーチャル・プラットフォーム、ファイル圧縮機能などをはじめとする各種のユニークな機能により、通信事業者、データセンター事業者、放送関連事業者などの開発・運用、監視業務の効率化に貢献します。

特徴① 仮想キャプチャ機能

1つの物理ポートあたり、最大で8までのキャプチャ・セッション※を同時に実行可能な機能
※サポートされるキャプチャ・セッション数は機種により異なります。

特徴② キャプチャデータファイルの圧縮機能

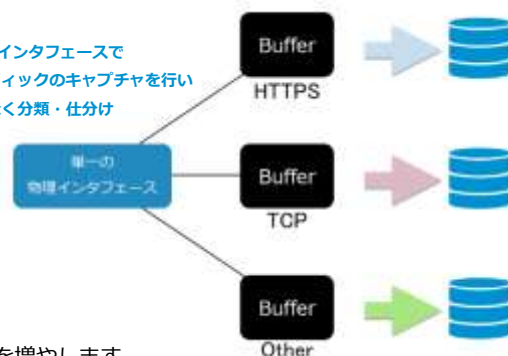
QPシリーズ製品には、取得するキャプチャファイル(pcap形式)を必要に応じて圧縮・保存する機能が搭載されており、ディスク容量の節約を図ることが可能です。これにより、一般的なパケットキャプチャ装置と比較し、同じディスク容量でありながらも、より多くのキャプチャしたデータの保存が可能です。

特徴③ NFSファイル転送機能

- キャプチャしたpcapデータを定期的にNFSサーバに転送する機能です。
● 日別、週別、月別で指定したフォルダにpcapデータを転送可能です。
● 外部ストレージにpcapデータを転送することでQPシリーズ製品内のストレージ空き容量を増やします。
● キャプチャデータファイルの圧縮機能との併用で更に容量を節約することができます。

フィルタしたトラフィックをそれぞれ別々のpcapファイルとして保存が可能

1つのインターフェースで
トラフィックのキャプチャを行い
無駄なく分類・仕分け



製品ラインナップ

Table with columns for model (QP500, QP600, QP1000, QP2000, QP4000) and rows for specifications like appearance, configuration, ports, performance, storage, RAID, OS, dimensions, and weight.

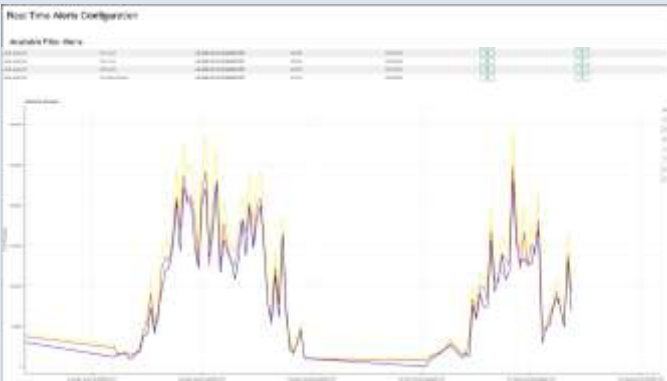


# Quantea PureInsight

パケット解析・可視化ソフトウェア

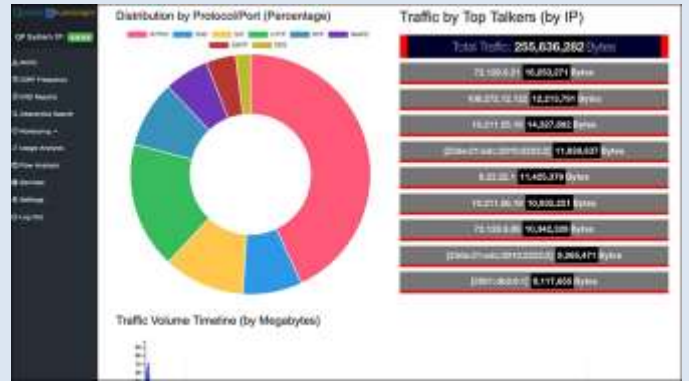
PureInsightはQPシリーズによって収集されたデータの解析および可視化を実行するための専用ソフトウェアです。本ソフトウェアではライセンスに応じて複数のユーザが同時にログインでき、それぞれのユーザが解析・監視等のタスクを個別に実行することが可能です。

## 特徴① アラート機能



ユーザによる複数のアラート条件を設定可能です。アラートを発報するためのトラフィックの監視は、リアルタイムで行われます。設定したアラート条件に合致した場合、アラートの発報とともに、合致した部分のトラフィックがpcapファイルとして抽出され、詳細な解析を迅速に実行することが可能です。

## ②ダッシュボード機能

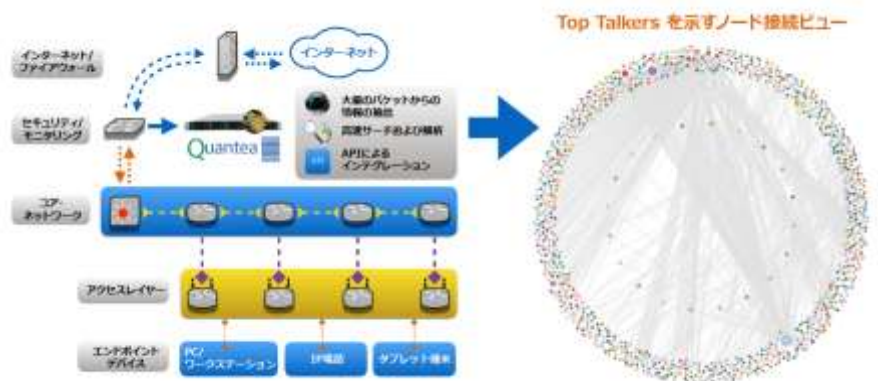


図の左の円グラフは、プロトコルおよびポート番号毎の内訳を示し、右側はIPアドレス別によるTop Talkerを表示します。円グラフ上の各プロトコル名をクリックすることで、そのプロトコルを除いた円グラフの表示を行ったり、円グラフにマウスカーソルを合わせることで、カウントされたパケット数の詳細な表示を行います。

## お客様事例

### 導入効果

大量のネットワーク・トラフィックを収集ネットワーク上におけるTop Talkerおよび使用されているアプリケーションを特定  
QPで収集した情報をSplunkおよび既存のトラフィック監視製品のダッシュボードに対し統合・表示。  
ネットワーク上におけるTop Talker情報を視覚化



## 柔軟・迅速なサポート

お客様からの要求に柔軟・迅速に対応いたします。カスタマイズ・製品サポートにも国内メーカーならではのクオリティを追求しています。

## 株式会社アルチザネットワークス

本社 東京都立川市曙町2丁目36番2号 ファーレ立川センタースクエア  
Tel. 042-529-3494 / Fax. 042-529-3495

※このカタログの内容は予告なく変更する可能性があります。  
最新の情報は株式会社アルチザネットワークスにお問い合わせください。

© 2026 Artiza Networks, Inc.



www.artiza.co.jp  
2026年5月

